令和２年７月７日

東京都知事
　小池　百合子　様

東京都議会自由民主党
幹事長　鈴 木 章 浩
（緊急対策チーム座長）

新型コロナウィルス対策補正予算案についての要望

新型コロナウイルス感染症の都内感染者数は、７，０００人に迫る勢いで拡大しており、連日１００人以上の感染者が確認されるなど、一度は沈静化していた地域でも、自粛規制の緩和とともに感染者が増幅されている状況にある。

政府は、第２次補正予算において、地域医療体制の更なる整備・感染拡大防止の推進を図るため、緊急包括支援交付金の拡充や、地方創生臨時交付金の拡充など、長期化する新型コロナウィルス感染症対策の更なる支援策を打ち出している。

都においても、新型コロナウィルスの患者を受け入れた医療機関への財政的な支援などを盛り込んだ総額３，０００億円規模の補正予算編成案を臨時都議会へ提案すると聞くが、国の対策も踏まえつつ、第２波を見据え、抜本的な対策を講じていくことが不可欠である。都議会自民党は以下の対策について補正予算に反映するよう強く要望する。

記

１　重篤な感染患者を受け入れている重点医療機関への支援を強化すること。

２　感染者の受入や患者の受診抑制により著しく診療報酬の激減により経営の悪化している医療機関への都独自の支援策を講じること。

３　医療従事者等や介護・障害福祉事業所の職員への支援を講じること。

４　中小企業の事業継続に向けた家賃支援補助については、国の家賃支援給付金に対して、都として、上乗せ支援を講じること。

以上